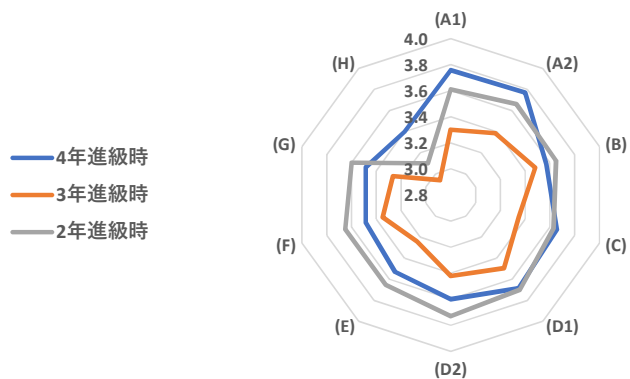


教育目的達成度調査
 (ディプロマ・ポリシーの達成度を学生が自己評価する調査)
 2017~2019年度経年比較データ

機械工学科

項目	DP (ディプロマ・ポリシー)
(A1)	「機械工学専門科目の基礎知識を取り込み、自然科学と歴史的背景を理解する能力。」
(A2)	「機械工学専門科目を通して社会における諸問題解決のための必要な知識・基本的ルール・スキル。」
(B)	「技術者として、人類や文化の発展と社会貢献に資する基本的かつ広範なりベラルアーツ。」
(C)	「日本語および基本的な外国語で4技能（読む、書く、聞く、話す）が相互に作用し、日常場面、職場、研究の場において必要なコミュニケーション能力。」
(D1)	「機械工学に必要なコンピュータを適切かつ効果的に活用し情報の収集や収集した情報の整理を効果的に行い、自分の考えや成果物を正確に伝える能力。」
(D2)	「機械工学のための数理基礎と工学系分野への応用の知識を修得し、論理的に分析・思考する能力と自己学習力（意欲）。」
(E)	「工学的諸問題に対して、機械工学の設計過程、制約条件に基づき解決策を協働しながら創出し成果をまとめる能力。」
(F)	「地域、国土、自然や生物多様性を守るために地球環境などにも精通したグローバルな倫理観を持って判断・行動できる能力。」
(G)	「工学に必要な知識から知恵へと転換できるように、受身教育から自らが学ぶ能動的学習を通して生涯考え行動する能力。」
(H)	「将来機械技術者として必要な専門分野を統合・発展させ、顕在化する複雑な工学的問題を解決する分析能力、統合化能力、適応能力および表現力。」

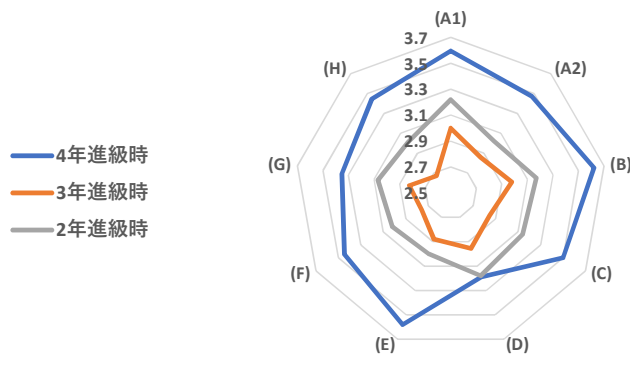
DP達成度自己評価



情報工学科

項目	DP (ディプロマ・ポリシー)
(A1)	「[専門基礎]情報工学の基礎知識・技術を修得する。具体的には[情報基礎]、[プログラミング能力]、[ソフトウェア設計・開発]、[ネットワーク]、[ハードウェア]に関する基礎的な知識・技術。」
(A2)	「[専門応用]情報工学の知識・技術を情報社会における諸課題に応用・解決できる能力を養う。具体的には、[知能ソフトウェア]、[モバイルユビキタス]、[情報メディア]、[数理情報]の分野に関する応用技術。」
(B)	「[教養と社会]工学に関する基本的な知識を体系的に理解したうえで、幅広い教養と豊かな人間性を養い、社会や人類に対する貢献ができる素養。」
(C)	「[論理的思考とコミュニケーションおよび語学]情報工学に関する諸課題を論理的に思考・記述する能力、日本語によるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を養うとともに、情報技術者として、国際社会に対応するため、外国語によるコミュニケーションの基礎能力。」
(D)	「[数学・情報リテラシ]数学および自然科学を中心とした科学の基礎を修得し、それらコンピュータを利用して情報工学に応用できる能力。」
(E)	「[計画・実行・まとめ]目標達成のための計画立案、遂行、結果のまとめ・検討など、一連の作業を計画的に進め、まとめる能力。また情報システムの構築に関する体系的な知識を基に、プロジェクトの運営・管理が自らできる能力（PBL）。」
(F)	「[倫理と社会的責任]技術者としての倫理観を有し、情報技術の進歩が社会に及ぼす影響を理解した上で、責任ある行動が取れる。」
(G)	「[自主性・継続性]情報システム工学に関する知識・技術を自主的・継続的に学習できる能力。自主的な学習の成果としての資格取得に取り組む姿勢。」
(H)	「これまでに獲得した情報工学に関する専門知識・技術、およびそれらを活用する能力を活用し、現実的な課題に取り組み、解決できる工学技術者としての素養。」

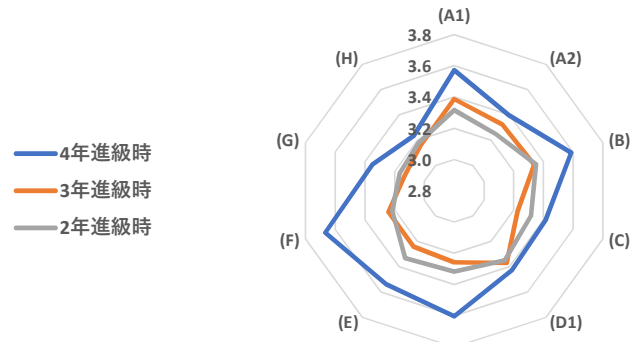
DP達成度自己評価



電気電子工学科

項目	DP (ディプロマ・ポリシー)
(A1)	「電気電子工学に関する一般的な基礎知識を修得し、活用することができる。」
(A2)	「電気電子工学の各分野（エネルギー系、エレクトロニクス系）において専門知識を修得し、応用することができる。」
(B)	「電力が社会を支える基盤エネルギーであること、エレクトロニクスが社会発展の推進役であることを理解し、人類や文化の発展と技術進歩の調和が重要なことを理解している。」
(C)	「日本語による論理的な思考力、記述力、発表、討議の能力を有し、また専門分野においては英語技術文献を読み解く能力を有している。」
(D1)	「問題解決のための言語・道具として、数理基礎能力を使いこなすことができ、情報通信技術（ICT）をモラルに則って効果的に活用することができる。」
(D2)	「問題発見から解決までを工学的なシステムとして捉え、情報収集・分析、創造・発想、実験・評価を通して論理的に取り組み、確実に実行することができる。」
(E)	「実験、演習、卒業研究等を通じて、与えられた制約条件の下で、課題に対して効果的に取り組むために他者と強調・協働し、自分の役割を担って仕事をまとめる能力を有している。」
(F)	「電気電子工学分野のみならず広く科学技術全般が人や環境に及ぼす影響や効果を理解し、技術者の社会的な責任（技術者倫理）を自覚している。」
(G)	「電気電子工学関連の国家資格等を在学中から目標にするなどして勉学に励み、卒業後も自らその分野の生涯学習や資格のレベルアップに取り組むことができる。」
(H)	「在学中に獲得した電気電子工学に関する知識・技能・態度を基に、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。」

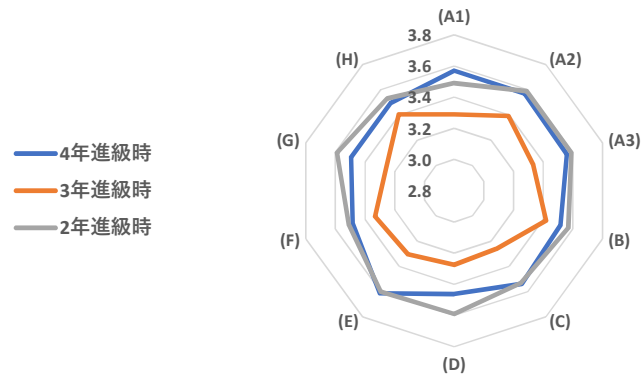
DP達成度自己評価



建築学科

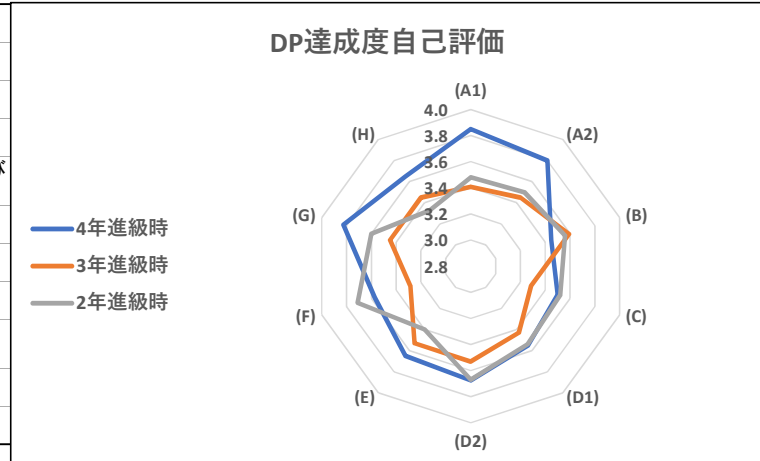
項目	DP (ディプロマ・ポリシー)
(A1)	「基礎的素養：建築物の設計者・技術者となるために必要な自然科学、語学、芸術、健康、情報リテラシーなどの基礎的な素養。」
(A2)	「建築の基礎的知識：積雪寒冷地を含む建築の計画、設計、生産、保全を行うための学術、技術、芸術における建築の各分野の基礎的な知識。」
(A3)	「建築の基礎的表現能力：建築学の基礎的能力を基に、設計図書で求められる基本的な内容を図面や文章によって表現することができる。」
(B)	「建築の文化的知識と都市・まちづくりに関する知識：積雪寒冷地を含む国内外の各地域の自然や歴史的・文化的背景に基づく建築物や都市・地域の成り立ちや変遷およびその学術的意義を理解している。」
(C)	「プレゼンテーション能力：与えられた課題に対する報告や自分が考えて得られた成果を的確な日本語等の表現を用いて、論理的に説明することができる。」
(D)	「情報リテラシーと数量的スキル：多様な情報を効果的、効率的に分析収集し、当該目的に応じた問題解決結果を呈示する方法と各種測定値や解析値を基にした数理解析能力。」
(E)	「チームワークと自己管理能力：建築が多岐に亘る専門の総体であることから、協働して問題の解決に携わる必要があることを理解すると共に、発表・討論などの双方向対話において、自らを律すること。」
(F)	「建築が負う社会的責任：既往の自然災害による建築物の被害や建築設計・生産が各種法規制を遵守し、社会的責任を自覚した上で行われるべきことを認識し、環境負荷の小さい建築空間や材料のリサイクル、リユース、建築物の長寿命化等の持続可能な建築計画手法。」
(G)	「キャリアデザイン能力・生涯学習力：建築に関連する各分野の動向を把握し、将来の目標を自らの適性と社会的責任も考慮して設定した上で進路選択し、それぞれの職種で卒業後も専門能力を高める必要があることを認識している。」
(H)	「総合力：自ら設定した現実的な課題に対して、それまでに修得した各種知識群を用いた問題の解決方法と結果を創造性と実用性を主眼とした的確な方法を用いて表現することができる。」

DP達成度自己評価



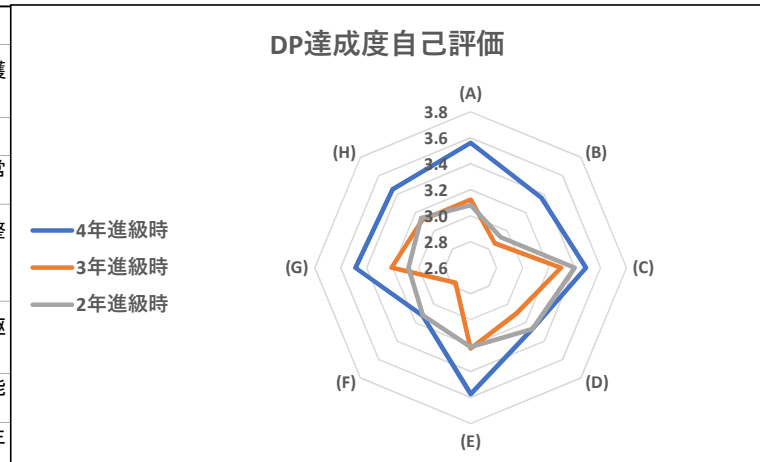
都市環境学科

項目	DP (ディプロマ・ポリシー)
(A1)	「建設と環境に関わる工学の基礎的な知識。」
(A2)	「建設と環境に関わる諸問題を演習・実験・実習を通して工学的に考察する能力。」
(B)	「社会的な広い視野の下で、総合的な価値判断ができる能力。」
(C)	「論理的な思考と的確な文章表現を用い、自己の考えを効果的に表現するプレゼンテーション能力および国際交流を図れるコミュニケーションの基礎力。」
(D1)	「情報技術に関する知識とスキルを修得し、実践で活用できる能力。」
(D2)	「建設と環境に関わる工学に関連する基礎的な数学および自然科学の素養。」
(E)	「専門知識や工学ツールを利用して構造物の設計や環境への影響を評価ができる能力。」
(F)	「建設技術が社会や自然に及ぼす影響を理解し、人類の発展と自然環境について総合的に考える倫理観。」
(G)	「演習を通して他者との協調性、自己学習の習慣、自ら行動する能力。」
(H)	「実務的課題を通して調査・分析・考察し、工学的に説明するデザイン能力。」



看護学科

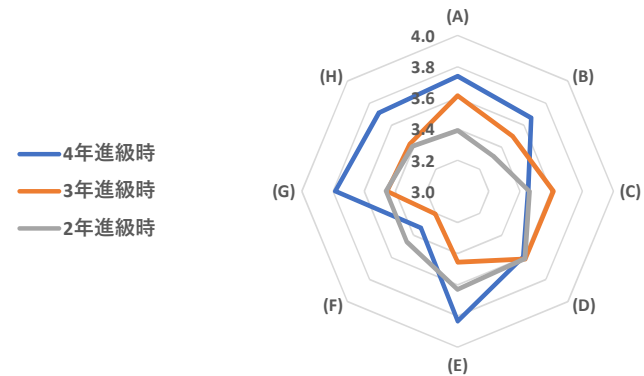
項目	DP (ディプロマ・ポリシー)
(A)	「看護学の基本となる知識を修得し、看護における基礎と応用に関わる知識を理解する能力。併せて看護学専門科目を通して社会における諸問題解決のための必要な知識・基本的ルール・スキル。」
(B)	「看護師としての基本的かつ広範な世界に通用するリベラルアーツ。」
(C)	「日本語および基本的な英語における基盤となる技能（読む、書く、聞く、話す）が相互に作用し、日常場面、職場、研究の場において必要なコミュニケーション能力。」
(D)	「情報処理やコンピュータの利用に関してこれを適切かつ効果的に活用し情報の収集や収集した情報の整理を効率的に行い、自分の考えや成果物を正確に伝える能力。さらに看護師として必要な数理基礎と診療・治療への応用の知識を修得し、思考・推論・創造する能力と自己学習力（意欲）。」
(E)	「保健医療における診断・診療・医療の安全管理などの諸問題に対して、看護学の目的と知識・技能を駆使して、他の医療技術者とチームを組み解決策を協働しながら創出し成果を得る能力。」
(F)	「地域、国土、自然そして生活や文化などにも精通したグローバルな倫理観を持って判断・行動できる能力。」
(G)	「看護に必要な知識から知恵へと転換できるように、受身教育から自らが学ぶ能動教育を通して自らが生涯考え行動する能力。」
(H)	「将来看護師として必要な専門分野を統合・発展させ、より安全で高度な医療を提供するための分析能力、統合化能力、協働能力および表現力。」



理学療法学科

項目	DP (ディプロマ・ポリシー)
(A)	「理学療法学の基本となる知識を修得し、医療における理学療法に関わる知識を理解する能力が身につきます。併せて基本教育科目を通して社会における諸問題解決のための必要な知識・基本的ルール・スキル。」
(B)	「理学療法士としての基本的かつ広範な世界に通用するリベラルアーツ。」
(C)	「日本語および基本的な英語における基盤となる技能（読む、書く、聞く、話す）が相互に作用し、日常生活場面、職場、研究の場において必要なコミュニケーション能力。」
(D)	「情報処理やコンピュータの利用に関してこれを適切かつ効果的に活用し情報の収集や収集した情報の整理を効率的に行い、自分の考えや成果物を正確に伝える能力。さらに理学療法士として必要な数理基礎と診療・治療への応用の知識を修得し、思考・推論・創造する能力と自己学習力（意欲）。」
(E)	「保健医療における診断・診療・医療の安全管理などの諸問題に対して、理学療法学の目的と知識・技能を駆使して、他の医療技術者とチームを組み解決策を協働しながら創出し成果を得る能力。」
(F)	「地域、国土、自然そして生活や文化などにも精通したグローバルな倫理観を持って判断・行動できる能力。」
(G)	「理学療法に必要な知識から知恵へと転換できるように、受身教育から自らが学ぶ能動教育を通して自らが生涯考え行動する能力。」
(H)	「将来理学療法士として必要な専門分野を統合・発展させ、より安全で高度な医療を提供するための分析能力、統合化能力、協働能力および表現力。」

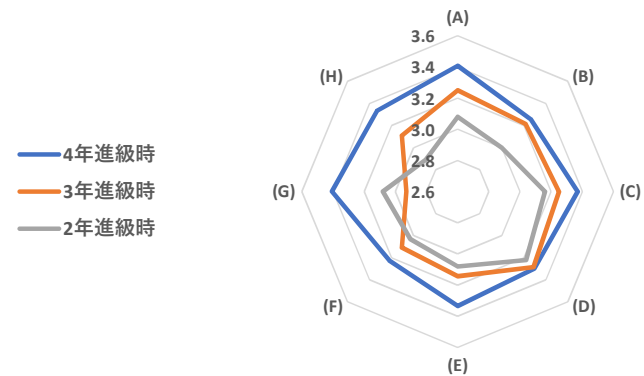
DP達成度自己評価



義肢装具学科

項目	DP (ディプロマ・ポリシー)
(A)	「義肢装具学の基礎となる知識を修得し、保健・福祉・医療における義肢装具に関わる知識を理解する能力。併せて義肢装具学専門科目を通して社会における諸問題解決のための必要な知識・基本的ルール・スキル。」
(B)	「義肢装具士としての基本的かつ広範な世界に通用するリベラルアーツ。」
(C)	「日本語および基本的な英語における基盤となる技能（読む、書く、聞く、話す）が相互に作用し、日常生活場面、職場、研究の場において必要なコミュニケーション能力。」
(D)	「情報処理やコンピュータの利用に関してこれを適切かつ効果的に活用し情報の収集や収集した情報の整理を効率的に行い、自分の考えや成果物を正確に伝える能力。さらに義肢装具士として必要な数理基礎と診療・治療への応用の知識を修得し、思考・推論・創造する能力と自己学習力（意欲）。」
(E)	「保健医療における診断・診療・医療の安全管理などの諸問題に対して、義肢装具学の目的と知識・技能を駆使して、他の医療技術者とチームを組み解決策を協働しながら創出し成果を得る能力。」
(F)	「地域、国土、自然そして生活や文化などにも精通したグローバルな倫理観を持って判断・行動できる能力。」
(G)	「義肢装具に必要な知識から知恵へと転換できるように、受身教育から自らが学ぶ能動教育を通して自らが生涯考え行動する能力。」
(H)	「将来義肢装具士として必要な専門分野を統合・発展させ、より安全で高度な医療を提供するための分析能力、統合化能力、協働能力および表現力。」

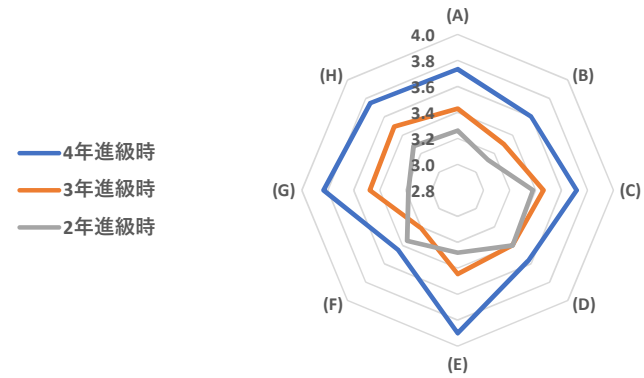
DP達成度自己評価



臨床工学科

項目	DP (ディプロマ・ポリシー)
(A)	「臨床工学専門科目の知識を修得し、医療における医学と工学に関わる知識を理解する能力。併せて臨床工学専門科目を通して社会における諸問題解決のための必要な知識・基本的ルール・スキル。」
(B)	「臨床工学技術者としての基本的かつ広範な世界に通用するリベラルアーツ。」
(C)	「日本語および基本的な英語における基盤となる技能（読む、書く、聞く、話す）が相互に作用し、日常生活場面、職場、研究の場において必要なコミュニケーション能力。」
(D)	「情報処理やコンピュータの利用に関してこれを適切かつ効果的に活用し情報の収集や収集した情報の整理を効率的に行い、自分の考えや成果物を正確に伝える能力。さらに臨床工学技士として必要な数理基礎と診療・治療への応用の知識を修得し、思考・推論・創造する能力と自己学習力（意欲）。」
(E)	「保健医療における診断・診療・医療の安全管理などの諸問題に対して、臨床工学の目的と知識・技能を駆使して、他の医療技術者とチームを組み解決策を協働しながら創出し成果を得る能力。」
(F)	「地域、国土、自然そして生活や文化などにも精通したグローバルな倫理観を持って判断・行動できる能力。」
(G)	「臨床工学に必要な知識から知恵へと転換できるように、受身教育から自らが学ぶ能動教育を通して自らが生涯考え行動する能力。」
(H)	「将来臨床工学技士として必要な専門分野を統合・発展させ、より安全で高度な医療を提供するための分析能力、統合化能力、協働能力および表現力。」

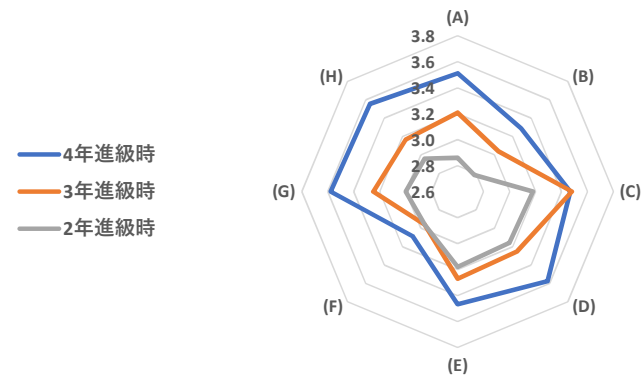
DP達成度自己評価



診療放射線学科

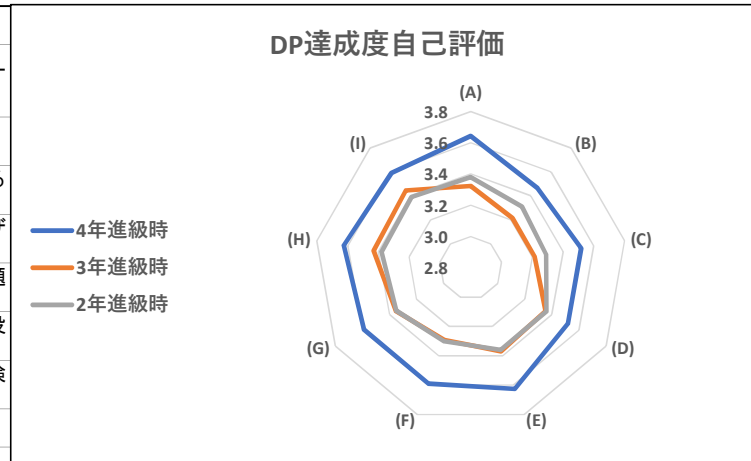
項目	DP (ディプロマ・ポリシー)
(A)	「診療放射線学の基礎となる知識を修得し、医療における診療放射線学に関わる知識を理解する能力。併せて診療放射線学専門科目を通して社会における諸問題解決のための必要な知識・基本的ルール・スキル。」
(B)	「診療放射線技師としての基本的かつ広範な世界に通用するリベラルアーツ。」
(C)	「日本語および基本的な英語における基盤となる技能（読む、書く、聞く、話す）が相互に作用し、日常生活場面、職場、研究の場において必要なコミュニケーション能力。」
(D)	「情報処理やコンピュータの利用に関してこれを適切かつ効果的に活用し情報の収集や収集した情報の整理を効率的に行い、自分の考えや成果物を正確に伝える能力。さらに診療放射線技師として必要な数理基礎と診療・治療への応用の知識を修得し、思考・推論・創造する能力と自己学習力（意欲）。」
(E)	「保健医療における診断・診療・医療の安全管理などの諸問題に対して、診療放射線学の目的と知識・技能を駆使して、他の医療技術者とチームを組み解決策を協働しながら創出し成果を得る能力。」
(F)	「地域、国土、自然そして生活や文化などにも精通したグローバルな倫理観を持って判断・行動できる能力。」
(G)	「診療放射線学に必要な知識から知恵へと転換できるように、受身教育から自らが学ぶ能動教育を通して自らが生涯考え行動する能力。」
(H)	「将来診療放射線技師として必要な専門分野を統合・発展させ、より安全で高度な医療を提供するための分析能力、統合化能力、協働能力および表現力。」

DP達成度自己評価



メディアデザイン学科

項目	DP (ディプロマ・ポリシー)
(A)	「メディアの社会的機能を理解するとともに、コンテンツを制作するのに必要なデザイン、コミュニケーション、ソフトウェアに関する知識を獲得し、それらに関連付けて体系的に理解ができる。」
(B)	「技術者としての教養につながる人文学、社会学、数学、自然科学、情報技術などに対する幅広い知識。」
(C)	「正しい言語の運用能力、すなわち文章を論理的に書き、理解する能力、他人とコミュニケーションする能力、プレゼンテーション能力。」
(D)	「情報技術の獲得、およびそれらの社会や自然に及ぼす影響・効果に関する理解力、さらに技術者やデザイナーとして社会に対する責任を自覚する能力（技術者倫理）。」
(E)	「課題を探求・発見する能力と、情報やマルチメディア・コンテンツに関する知識・技能を活かして課題を解決する能力。」
(F)	「協働グループ内、地域内で自らの役割・責任を的確に理解し、学習の場面、業務の場面においてその役割・責任を果たす能力。」
(G)	「自主的・自律的な学習・討論を通して、自らまたはグループの問題を発見する能力や問題解決能力を検証・強化していく習慣。」
(H)	「自らを律し、社会的規範・通念に即した行動選択ができる能力。」
(I)	「ソフトウェア、コミュニケーション、デザインについての総合的な視点と知識を身につけ、現代社会の諸問題を柔軟に分析する能力と技術、情報発信能力、社会の発展に貢献しようとする態度。」



人間社会学科

項目	DP (ディプロマ・ポリシー)
(A)	「人間社会学の基礎的な学術理論を基板として経営学、社会学、心理学、健康スポーツの専攻分野毎に、それぞれ関わる知識、それらに関連付ける体系的な理解。」
(B)	「社会人としての教養につながる人文学、社会学、数学、自然科学、情報技術などに対する幅広い知識。」
(C)	「正しい言語の運用能力、すなわち文章を論理的に書き、理解する能力、他人とコミュニケーションする能力、プレゼンテーション能力。」
(D)	「情報技術や社会的分析能力を獲得し、データや資料を的確に分析・精査し、その結果を用いて論理的に問題の所在や解決方法について考察を加えることができる能力。」
(E)	「現代の社会における課題を探求・発見し、それらの課題を経営学や社会学、心理学、健康スポーツ学などに関する知識を活かして解決する能力。」
(F)	「協働グループ内、地域内で自らの役割・責任を的確に理解し、学習の場面、業務の場面においてその役割・責任を果たす能力。」
(G)	「自主的・自律的な学習・討論を通して、自らまたはグループの問題を発見する能力や問題解決能力を検証・強化していく習慣。」
(H)	「自らを律して学習する習慣を身につけ、社会的規範・通念に即した行動選択ができる能力。」
(I)	「人間及び社会に関する総合的な視点と知識を身につけ、現代社会の諸問題を柔軟に分析する能力と技術、情報発信能力を持ち、社会の発展に貢献できる。」

